

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達サークル・バンビ		
○保護者評価実施期間	R8年1月5日 ～ R8年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	R8年1月5日 ～ R8年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・言語聴覚士(ST)・作業療法士(OT)・理学療法(PT)の専門的な個別療育を提供している。	・個別療育の時間枠を作るように調整している。 ・ST・OT・PTが連携しながら実施するようにしている。	・言語聴覚士(ST)・作業療法士(OT)・理学療法(PT)の個別療育の頻度が少ない利用児もいるため、更に提供できるようにしたい。
2	・幼児には職員が1対1で付く体制をとり、一人一人に丁寧に対応している。	・外に遊びに行く時はリスク管理として、幼児には職員が1対1でつけるように職員配置をしている。 ・一人一人にしっかりと関わられるようにしている。	・利用児の特性に合わせた関わり方がもっと提供できるようにしていく。
3	・個別支援計画書の作成だけでなく、半年毎に評価をして保護者に丁寧に報告・説明をしている。	・アセスメントは全職員がそれぞれの職種の視点で評価するようにしている。 ・保護者の面談を定期的に行い、保護者のケアも丁寧に行うようにしている。 ・地域の園や学校・医療機関などの関係機関にも療育の様子を知ってもらうために、アセスメント表や個別支援計画書・専門的支援計画書を保護者の同意を得て、提供している。	・全職員の知識や技術を更に向上させるために定期的に研修会を開催したり、外部の研修会などに積極的に参加するようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・園庭がなく、身体を動かす機会が少ない。	・賃貸の建物のため、専用の園庭がない。	・できるだけ近くの公園などに利用児を連れていき、しっかりと身体を動かすようにする。 ・部屋の中でもできる運動を行っていく。
2	・保護者同士の交流会をあまり開催できていない。	・日常の業務に追われ、開催回数が少ない。	・保護者同士の交流会を開催するために、開催時期や開催時間も考慮する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達サークル・バンビ
------	---------------

公表日：R8年3月2日

利用児童数：20名

回収数：18名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	・とても詳しく書かれているので、様子や状態がよく分かる。	個別に沿った支援内容や保護者様のニーズを確認しながらの作成を今後も継続していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0	・とても詳しく書かれているので、様子や状態がよく分かる。	個別に沿った支援内容や保護者様のニーズを確認しながらの作成を今後も継続していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	2	・平日は過ごす時間が少ないので、よく分からないが、長期休暇等は色々と活動している。	・日々、工夫しながら楽しい活動に取り組んでいます。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	3	7			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1	1	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0	・主にLINEでやりとりをしている。本人の情報を共有しやすい。	・今後も継続していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0	・主にLINEでやりとりをしている。よく話を聞いてもらっている。	・今後も継続していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	・よく見てもらい、支援してもらっている。	・今後も継続していきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	6	1	4	・参加したことがないのでわかりません。 ・保護者会はあったが、きょうだい向けのイベントはなかったように思う。	・今後は回数を増やして開催できるように努めていきます。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	2	・事故が発生していない。	・今後も事故や怪我等ないように配慮していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	・長く利用させてもらっているので、とても安心している。	・今後も子ども達が安心して通えるようにしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0	・いつも楽しみにしている。	・今後も子ども達が楽しみながら通所できるよう支援提供をしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	・本人に合った支援(特性をよく知ってくださっている)をいつもありがとうございます！満足です！	・今後も適切な支援が行えるよう努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達サークル・バンビ		公表日 : R8年3月2日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		ワンフロアのため、構造化が難しいため、仕切りなどで安心できる空間を作る必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	職員の配置は手薄にならないように配慮している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	活動する場所を分かりやすく設定している。	柵に引っ掛かる可能性があるため、注意する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	活動する場所を分かりやすく設定している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	毎日、利用者が帰られた後に掃除を実施している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎月、個別支援会議を実施し支援内容の評価や見直しをおこなっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価内容を受け、職員ミーティングを行い情報共有を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎月、職員ミーティングを行い、情報共有を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	定期的に第三者委員会を開催し、意見を伺って業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修開催時は全職員に情報提供し、希望者は参加している。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	毎月のお便りに日々の支援内容を記載し、実施している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	全職員でアセスメントを行い、保護者のニーズも汲み入れながら個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員内で話し合い、検討・作成を行っている。また、作成後は回覧を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画を作成したあと回覧を行い、支援に関して日々職員同士で情報共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	必要に応じて発達検査や知能検査を専門職員が行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	利用児に対する直接的な発達支援や家族支援に必要な内容を適切に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	日々の内容は職員同士で検討・実施している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	発達段階に合わせて活動プログラムを立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別に合った個別療育・集団療育を組み入れた個別支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	毎日、支援内容を職員間で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の活動の様子を記録し今後の療育に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年ごとにアセスメントを行い保護者面談を実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	ガイドラインに沿って支援計画を作成し、実施している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者や担当の保育士など日ごろからの様子をよく理解している職員が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校や保護者と連携し、学校生活に関する情報収集を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	施設内での卒業生はまだいないが、法人内での移行をする際は情報提供を行った。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学や契約時に分かりやすく説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	家族の希望を確認し、作成を行っている。また作成後も必要時には追加や変更など修正を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	面談時に、丁寧な説明を心がけている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	日々の連絡帳でのやりとりや定期的な面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	まだ開催回数は少ないが今後も開催を行う。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談等の申し入れがあれば迅速に対応するよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	毎月パンフレットを発行し活動の様子を掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	契約時に個人情報提供の同意書を頂いている。また、取扱いには十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	利用児の特性を把握し、配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	地域活動として、障害児スイミングを開催し外部の希望者も受け入れをおこなっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを作成し各訓練も月ごとに実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	毎月、様々な災害を想定し、訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時にフェイスシートを記入して頂き、確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	契約時にアレルギー調査の用紙を記入して頂いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	各種マニュアルを作成し各訓練も月ごとに実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	各種マニュアルを作成し各訓練も月ごとに実施している。 またお便りにて訓練の様子を掲載している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	事故発生時には必ず記入を行い、職員間で共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	定期的に虐待防止の研修会やアンケートを実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束の全面禁止を職員に周知している。 現時点で座位保持椅子使用の利用児はいないが今後利用する方が来られた場合は落下防止のベルト着用など同意を頂くようにする。		